

PAT-NO: JP360047701A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60047701 A

TITLE: IRROTATIONAL CAP FOR WHEEL

PUBN-DATE: March 15, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TAKAHASHI, JUNICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SHINSEI SANGYO KK	N/A

APPL-NO: JP58155024

APPL-DATE: August 26, 1983

INT-CL (IPC): B60B007/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To allow advertisement and propaganda to be displayed and save fuel consumption by pivotally supporting a cap main body with a weight to a frame fitted to the rotary center section of a wheel, forming it so as not to be rotated together with the wheel, and shielding the recess at the center of the wheel.

CONSTITUTION: A frame 4 is fixed to the rotary center section 2 of a wheel 1 with bolts 3, etc., and a cap main body 6 with a weight 8 is supported to it through a bearing 5. Thereby, the cap main body 6 invariably receives the downward tractive force of the weight 8 and is pivotally supported, thus it keeps a fixed position without following the rotation of the wheel 1 and frame 4. Accordingly, advertisement and propaganda can be displayed and also the fuel consumption rate can be improved by shielding the outer surface of the wheel.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio

## ⑫ 公開特許公報 (A) 昭60-47701

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>  
B 60 B 7/00識別記号 厅内整理番号  
7146-3D

⑭ 公開 昭和60年(1985)3月15日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 車輪用非回転キャップ

⑯ 特願 昭58-155024

⑰ 出願 昭58(1983)8月26日

⑱ 発明者 高橋 純一 東京都中央区八丁堀2-1-2

⑲ 出願人 新星産業株式会社 東京都中央区八丁堀2-1-2

⑳ 代理人 弁理士 成島 光雄

## 明細書

## 1. 発明の名称

車輪用非回転キャップ

## 2. 特許請求の範囲

車輪の回転中心部に枠盤を取付け、該枠盤に装着した軸承を介してキャップ主体の中心軸を車輪の回転方向と平行に支承し、該キャップ主体の裏面に重錠を設けたことを特徴とする車輪用非回転キャップ。

## 3. 発明の詳細な説明

## (a) 産業上の利用分野

本発明は、主として自動車等の車輪に取付けるキャップであつて、取付け部分が滑動することによつて非回転に位置を固定する車輪用非回転キャップに関するものである。

## (b) 従来技術

この種車輪に取付けるキャップは、従来容易に離脱しないよう車輪の外面に確固として取付けられる結果、車輪と共に回転するのが普通であつて、その表面を非回転状態に支持することは不可

能視されていた。

## (c) 発明の目的

そこで本発明の目的は、車輪の外面に非回転状態にキャップを取り付け、停車中は勿論、走行中ににおいてもキャップ表面の位置を固定し、広告宣伝の表示を可能とし、車輪外面の遮断による燃費節約を期することにある。

## (d) 発明の構成

本発明の構成を図面について説明すると、車輪1の回転中心部2に、周辺部をボルト3等で取付けた枠盤4を固定し、該枠盤4の中心部に装着した滑動用の軸承5によつてキャップ主体6の中心軸7を、車輪1の回転方向と平行状態に支承すると共に、該キャップ主体6の裏側外縁に重錠8を付着してなる構成のものである。

## (e) 作用

本発明は以上の構成によつて、車輪1に取付けられたキャップ主体6は、車輪1の中央部にある凹所を遮断するばかりでなく、枠盤4は車輪1と一緒に回転してもキャップ主体6の中心軸7は軸

ツプ主体の裏面図を示している。

## 符 号 の 説 明

1 … 車輪	2 … 回転中心部
3 … ボルト	4 … 枠縫
5 … 軸承	6 … キヤツプ主体
7 … 中心軸	8 … 重錘

特許出願人 新星産業株式会社  
代理人 幸理士 成島光雄



承5を介し、かつ、キヤツプ主体6は重錘8の下  
方への牽引を受けるので、車の走行の始めと終り  
に多少揺動することはあつても、走行中はキヤツ  
プ主体1を回転することなく、當時一定位置を保  
つよう支持されるものである。

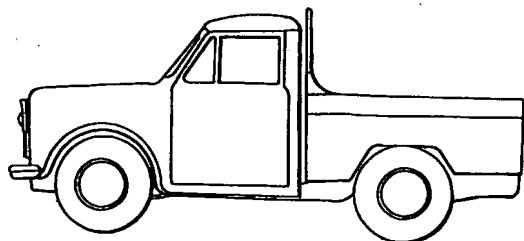
## (1) 発明の効果

本発明は、キヤツプ主体6が車の走行中も静止  
状態を保つよう支持されているので、その表面に  
表示した模様や文字の認取が可能であるから広告  
宣伝に優れた効用を有するほか、車輪1中央凹所  
を遮閉することによつて、燃費節約に資するこ  
とができる。本発明キヤツプは、従来の各種車輪にも  
容易に取付けて同様の効果を奏せしめ得る特徴が  
ある。

## 4. 凹面の簡単な説明

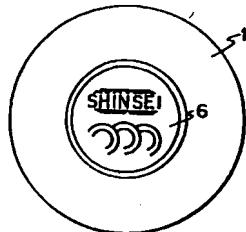
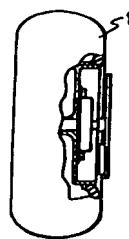
凹面は本発明実施の意図を示すもので、第1図  
は、本発明キヤツプを取付けた自動車の側面図、  
第2図は、車輪一個の拡大側面図、第3図は、同  
要部を開示した他方向からの側面図、第4図は、  
キヤツプ支持部分の拡大断面図、第5図は、キヤ

第1図

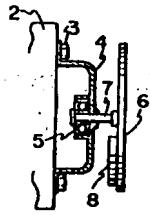


第3図

第2図



第4図



第5図

